

様式 2

環境保全行動 報告提出書
自動車使用管理実施

2025 年 8 月 10 日

(宛先) 札幌市長

提出者 住所 氏 名 (代表者名)	〒 005-0805
	札幌市南区川沿5条2丁目2番50号
	寿ハイヤー株式会社
	(代表者名) 山澤 巖雄
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	

札幌市生活環境の確保に関する条例 第 1 3 条第 4 項 の規定により、環境保全行動
第 2 3 条第 3 項 自動車使用管理実施
報告書を提出します。

報 告 期 間		2024 年 4 月 1 日 ～ 2025 年 3 月 31 日						
事業 の 規 模	従業員数	115		人	原油換算した	369.4		kl
	使用床面積	984		㎡	燃料・熱・電気の合計量			
	事業所数	1	事業所	自動車使用台数		74	台	
	温室効果ガス排出量 (二酸化炭素 換算排出量)	エネルギー起源CO ₂	メタン		N ₂ O		HFC	
		856	t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂	
	非エネルギー起源CO ₂	PFC		SF ₆		NF ₃		
		t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂		
報告書の担当部署		担当部署名						
		担当者氏名						
		電話/FAX						
		電子メールアドレス						
計画書提出根拠		条例第 1 3 条 (環境保全行動計画)					☐ 第 1 項 ☒ 第 3 項	
		条例第 2 3 条 (自動車使用管理計画)					☐ 第 1 項 ☐ 第 2 項	
計画期間		2024 年 4 月 1 日 ～ 2027 年 3 月 31 日						
環境保全行動 自動車使用管理実施 報告書		別添のとおり						
備 考								

注 1 従業員数、使用床面積及び自動車使用台数は、報告に係る年度の 3 月 31 日現在で記入してください。

2 事業所数は、報告年度に係る年度の 3 月 31 日現在の札幌市内事業所数を記入してください。

3 燃料・熱・電気の合計量は、報告に係る年度に使用した量を原油換算して記入してください。

4 原油換算の方法は、エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律施行規則第 4 条に規定する方法により行ってください。

5 温室効果ガス排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律第 2 条第 5 項で規定する方法により、二酸化炭素排出量に換算したものを記入してください。

6 ☐ のある欄には、該当する ☐ 内にレ印を記入してください。

備考 この様式により難しいときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる。

別添

環境保全行動報告書
自動車使用管理実施報告書

1 行動目標の達成状況

【計画期間】
2024 年 4 月 1 日 ～ 2027 年 3 月 31 日
【報告期間】
2024 年 4 月 1 日 ～ 2025 年 3 月 31 日

行動目標	基準数値	目標削減率	2024年度結果			2025年度結果			2026年度結果		
			実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果
営業車一台あたりの二酸化炭素量の削減	9.78	1	9.69	1	△						
	t	%	t	%							
営業車一台あたりの窒素酸化物の削減	3123.2	1	3304.22	▲ 6	×						
	g/kg	%	g/kg	%							
年間の電力使用量の削減	89.1	1	89.2	▲ 0	×						
	千kw	%	千kw	%							
年間の灯油使用量の削減(暖房・ボイラー用)	23.3	1	23.6	▲ 1	×						
	kl	%	kl	%							
		%		%							
		%		%							

- 注 1 実績数値が基準数値よりも増加した場合は、削減率の数値の前に▲を記入してください。
2 結果の欄には、以下のいずれかを記入してください。
○：目標削減率を達成
△：実績数値が基準数値よりも削減されたが、目標削減率は未達成
×：実績数値が基準数値よりも増加

2 行動目標達成・未達成の理由

行動目標	結果	理 由
営業車一台あたりの二酸化炭素量の削減	△	ハイブリット車への転換が進んだ為と思われます。
営業車一台あたりの窒素酸化物の削減	×	全体の走行キロが増加した影響と思われます。
年間の電力使用量の削減	×	原因は不明です。
年間の灯油使用量の削減(暖房・ボイラー用)	×	冬期間の寒さが影響したものと思われます。